

Value-based medicineの推進に向けた循環器病の疾患管理システムの構築に関する研究

研究分担者 永井 利幸 北海道大学大学院医学研究院 准教授

研究要旨

心不全患者の急性期の予後予測、慢性期以後の多職種による多面的疾病管理の実態を明らかにするため、心不全患者に対する多面的包括的管理に対する質問票調査による横断調査を実施した。結果、地域連携パスの使用率は14.4%であり、約4割の施設で心不全悪化リスク評価を行っていたが、心不全増悪を予防するための取り組みは約6割の施設で実施されるにとどまっていた。

A. 研究目的

心不全患者の急性期の予後予測、慢性期以後の多職種による多面的疾病管理の実態を明らかにする。

B. 研究方法

心不全患者に対する多面的包括的管理に対する質問票調査(下記項目)による横断調査を実施する。

- 1) 生命予後評価
- 2) QOL維持のための多面的予後評価
- 3) 多職種連携による疾病管理の実施と実際

C. 研究結果

日本循環器学会研修病院 431 施設へのアンケート調査の結果、以下の結果が得られた。

- ① 62施設(14.4%)で地域連携パスを使用。
- ② 307施設(71.2%)で急性期病院とかかりつけ医の連携がとれていた。
- ③ 175施設(40.6%)がリスク評価(重症化・再発・QOL低下等)を行っていた。
- ④ 252施設(58.5%)が心不全重症化・再発・QOL低下予防に関する何らかの取り組みを行っていた。

D. 考察

地域連携パスの使用率は2割以下であり、今後更なる普及の努力が必要と考えられる。そのためには各地域レベルで多職種連携のプラットフォーム構築の努力が必要である。また、心不全増悪による入院中に多職種連携による重症化予防の取り組みを向上させるための啓発活動が必要と考えられた。

E. 結論

心不全診療の質向上を目指した多職種連携の普及は十分でなく、連携のさらなる啓発が必要である。

F. 健康危険情報

(総括研究報告書にまとめて記載)

G. 研究発表

1. 論文発表

1. Sundaram V, Nagai T, Chiang CE, Reddy YN, Chao TF, Zakeri R, Bloom C, Nakai M, Nishimura K, Hung CL, Miyamoto Y, Yasuda S, Banerjee A, Anzai T, Simon DI, Rajagopalan S, Cleland JG, Sahadevan J, Quint JK. Hospitalization for heart failure in the USA, UK, Taiwan and Japan: an international comparison of administrative health records on 417,385 individual patients. J Card Fail 2022; 28: 353-366.

2. Tada A, Nagai T, Kato Y, Omote K, Oyama-Manabe N, Tsuneta S, Kudo Y, Nishida M, Nakai M, Takahashi Y, Saiin K, Naito S, Kobayashi Y, Takenaka S, Mizuguchi Y, Kamiya K, Konishi T, Sato T, Kudo K, Anzai T. Liver stiffness assessed by magnetic resonance elastography predicts clinical outcomes in patients with heart failure and without chronic liver disease. Eur Radiol 2023; 33: 2062-2074.

2. 学会発表

1. 永井利幸, 安斉俊久. 本邦におけるHFpEF患者の臨床的特徴と診断および治療に与える影響. シンポジウム16: 多様性に富むHFpEFの実態を理解する: 診断と治療の最前線. 第70回日本心臓病学会学術集会 2022年9月 京都。

2. 永井利幸, 安斉俊久. Clinical Feature

s and Outcomes of Heart Failure with Preserved Ejection Fraction in Japan.

ジョイントシンポジウム：日本・欧州・米国心不全学会合同シンポジウム) 第26回日本心不全学会学術集会 2022年10月 奈良

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

##### 1. 特許取得

なし

##### 2. 実用新案登録

なし

##### 3. その他

なし